

# 港湾局関係の指標の動向

国土交通省全体で27の政策目標、119の業績指標(うち港湾局関係は20指標)を定め、毎年チェックアップを実施。

政策テーマ	政策目標 (アウトカム)	業績(アウトカム)指標	初期値	H17(実績値)	目標値
暮らし 生活空間の充実等を通じた豊かな生活の実現	バリアフリー社会の実現	1日当たりの平均利用者数が5,000人以上の旅客施設、その周辺等の主な道路、不特定多数の者等が利用する一定の建築物及び住宅のバリアフリー化の割合(旅客施設の段差解消、視覚障害者誘導用ブロック)	【段差】39.4%(H14) 【誘導】72.0%(H14)	49.1%(H16) 80.3%(H16)	7割強(H19) 8割強(H19)
	アメニティ豊かな生活環境の形成	人々が海辺に親しむことのできる海岸の延長	約6,700km(H14)	約6,790km	約6,800km(H19)
安全 防災の高度化の推進と交通安全対策の強化	水害等による被害の軽減	津波・高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積	約15万ha(H14)	約12.4万ha	約10万ha(H19)
	地震・火災による被害の軽減	地震時に防護施設の崩壊による水害が発生する恐れのある地域の解消	約13,000ha(H14)	約11,100ha	約10,000ha(H19)
		港湾による緊急物資供給可能人口	約1,900万人(H14)	約2,040万人	約2,600万人(H19)
	交通安全の確保	港湾におけるプレジャーボートの適正な係留・保管率	45%(H8)	45%(H14)	55%(H18)
重要港湾において不正侵入を防止する設備を完備している外航船用の公共港湾施設の割合		0%(H15)	100%	100%(H17)	
環境 地球環境から身近な生活環境までの保全・創造	良好な自然環境の保全・再生・創出	失われた自然の水辺のうち、回復可能な自然の水辺の中で再生した水辺の割合	0(H14)	11%	約2割(H19)
		失われた湿地や干潟のうち、回復可能な湿地や干潟の中で再生したものの割合	約2割(H14)	約2割	約3割(H19)
		生物多様性の確保に資する良好な樹林等の自然環境を保全・創出する公園・緑地	0ha(H14)	約1,400ha(速報値)	概ね2,400haを確保(H19)
	良好な水環境への改善	湾内青潮等発生期間の短縮	0(H14)	H14年度比約8%減(H16)	H14年度比約5%減(H19)
	循環型社会の形成	可能な限り減量化したうえで海面処分場でも受入が必要な廃棄物の受入	100%(H14)	100%	100%(H18年度以降毎年)
循環資源国内輸送コスト低減率		0(H14)	H14年度比約7%減	H14年度比約1割減(H19)	
活力 都市再生や地域連携、観光振興等を通じた、魅力と活力にあふれる経済社会の形成	国際的な水準の交通サービスや国際競争力等の確保・強化	国際海上コンテナ貨物等輸送コスト低減率	0(H14)	H14年度比3.3%減	H14年度比5%減(H19)
		船舶航行のボトルネック解消率	75%(H12)	83%	90%(H18)
	物流の効率化	複合一貫輸送に対応した国内輸送ターミナルから陸上輸送半日往復圏の人口カバー率	75%(H12)	79%	80%(H18)
		フェリー等国内貨物輸送コスト低減率	0(H14)	H14年度比2.3%減	H14年度比4%減(H19)
共通の政策課題	IT革命の推進	※ 港湾EDIシステムの普及率	22.0%(H13)	87.9%	100%(H17)
		公共施設管理用光ファイバ等収容空間ネットワークの延長	31,050km(H14)	33,000km	33,000km(H17)

注1) □ の指標は社会資本整備重点計画の指標も兼ねている。

2) 指標値は年度末の値

3) ※ EDIシステムは、導入が困難な港湾を除いてほぼ導入しており、実質的には当初の目標を達成している。